

# 令和6年 第4回定例会

## いっぱんしゅもん

12月17日に、5名の議員から町行政に対する一般質問がありましたので、要旨をお知らせします。

### 高齢者の運転免許証自主返納後の支援について

**Q** 高齢者運転免許証の自主返納時における支援サービスを妹背牛町でも整える考えがあるか伺う。

**A** 免許証を返納した場合の支援だと町民全体に対する生活の支援にはつながらないと考えている。



渡辺 倫代 議員

が受付を終了後も町で独自の補助を続けている。この件に関してもお考えを伺う。

#### 総務課長

返納者に対する支援策については運転免許証をもともとお持ちでない方やすでに返納、もしくは更新をしなかつた方との公平を保つため、返納時に特化した商品券の配布などは実施していない。免許証を返納した場合に限った支援だと町民全体に対する生活の支援にはつながらないと考えている。急発進抑制装置などに対する支援事業については、交通事故防止に寄与できるものと考え、予算や必要性等含めて検討したい。

### 公設型学習塾の設置について

**Q** 公設型学習塾についてまだ設置に至っていないが、進捗状況を伺う。

**A** アンケート調査を行った。令和7年度予算計上に向けて現在準備を進めている。

#### 渡辺議員

公設型学習塾の設置は、第9次総合計画に謳われているが、まだ設置に至っていない。妹背牛町の児童生徒の学習習慣の定着や学力向上の一助となるべく、公設型学習塾の検討の結果と、具体的な協議の内容（形態・ターゲット・場所・人材確保・予算規模など）の進捗状況を伺う。

#### 教育課長

令和6年5月下旬から6月上旬にかけて保護者を対象に行ったアンケート調査では、開設に肯定的な意見が非常に多く、令和7年度予算計上に向けて現在準備を進めている。指導方法は、個別指導、オンラインでの映像指導、両方を合わせたハイブリッド指導のいずれかになる想定している。会場の候補

は学校か町民会館、時間帯は放課後を予定している。課題は人材の確保と考えている。まずは基礎学力や学習習慣の定着を目的として小学校高学年を対象に週1回の開催を考えている。

#### 教育長

子どもたち一人ひとりの個性、特性を見つめ、それぞれに最適な方法で自ら考え、力を豊かな心を伸ばすことが必要不可欠であると理解している。昨今の民間学習塾が自治体との連携に力を入れているという時流を捉え、それをうまく活用できれば子ども



もたちに対する安定的な学習支援が可能になり、財政的な負担も抑えられるものと考え

ている。予算査定を含め、町長部局との理解、協議を深めて進めていきたい。

## 高校跡地をRVパークとして利用できないか

**Q** 高校の跡地をRVパークを中心とした観光資源として利用できないかを伺う。

**A** 維持管理の面や財政的に、RVパークの整備は困難と考えている。



鈴木 正彦 議員

### 鈴木議員

現在高校の跡地は一部が工事事務所として使われている状況であるが、

①道道深川雨竜線から西4町内をつなぐ道路についての現状を伺う。

②土地取得は利用計画を道に示してから協議になると聞いているが進展がないためRVパークを中心とした観光資源として利用できないかを伺う。



### 建設課長

①高校用地西側、道道深川雨竜線から南側を見て約70メートルまでは高校用地と隣接し、町有地がある。

それからさらに83メートルまでいくと、町道南2条線との交点になるが、約48メートル

の区間では高校用地の隣接地は民地となっている。また、高校用地の西側には現況で農業用排水路があるが、この排水路は現在道営事業により進められている妹背牛4区第1地区の整備対象排水路であり、令和7年度の施工予定となっている。このような状況から、道道と南2条線をつなぐ道路を計画するとした場合、排水路の東側の高校用地に最低でも6間幅の道路用地を確保する必要がある。しかし、現状では高校用地全体の活用計画がないことから、道路単独での計画は困難なものと考えている。今後、高校用地全体の活用計画を検討する段階で道路整備を含め検討することが合理的であると考えている。

### 企画振興課長

②高校跡地の利用については、北海道総務部行政局財産課へ提出している

道有未利用地の利用、取得希望調書の中で小中学校の建て替え候補地として報告しており、小中学校などの公共用として利用するのであれば、土地の取得費用については無

償で譲渡していただけることとなっている。

RVパークの整備を検討する場合には、費用対効果の問題や24時間トイレの整備、電源設備、料金徴収管理体制やごみの回収などの課題がある。また財政的にも、RVパークの整備は困難と考えている。

### 町長

妹背牛町のアピールポイントとして道道に面してい

る高校跡地を磨き上げるべきではないかという考えは理解できるが、現在の方向に動き出そうというのは財政的に非常に難しい。また、維持管理すること、それから近隣住民の住んでいるそばに造るということは非常に大きなハードルを抱えているため現時点ではそのように動くべきではないと考える。

## 温室効果ガス削減の取組と農業への影響について

**Q** 温室効果ガス削減のための取組実施に対して農業に与える影響について伺う。

**A** 機械導入コストが高いことが問題と考えている。また、中長期的な計画づくりも重要と考えている。



廣田 毅 議員

### 廣田議員

温室効果ガスを起因とする気候変動が我が国で

も顕著となり、削減に向けた取組は待たなしと言えるなか、本町においても妹背牛町ゼロカーボンシティ宣言を表明されている。過日、第1次妹背牛町地球温暖化対策実行計画が示されたが、区域施策編の温室効果ガス削減のための取組、とりわけ農業を中心

に伺う。

①スマート農業の推進について、ハード面だけでなくソフトウェアの取組も考えられるかと思う。ふるさと納税に使える副産物が出てくる可能性もあると考えるが所見を伺う。

②温室効果ガス削減のための取組実施に対して農業に与える影響をどのように考えているか伺う。

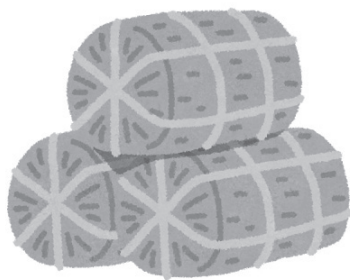
③CO2の削減米を環境に優しい米として別枠でふるさと納税の返礼品とし、JAから頂くという方法も考えられると思うが、考えを伺う。

④CO2を削減していく取組として、Jークレジットを使った水田の中干しをどうやって農家の方々に周知しながら推進していくのか伺う。



### 町長

①スマート農業はCO2削減につながる取組として計画に掲載している。ソフトウェアの事業については間接的な項目であるため掲載していないが、重要視しながら進めていく。労働時間の短縮を図ることで新たな作物に挑戦し返礼品を開発することも考えられるが、スマート農業の確立に長い時間を要すると考えている。バイオマスエネルギーについても検討する必要があると考えている。



②機械の導入コストが非常に高いことが問題であると考えている。また、中長期的な計画づくりも重要と考えている。JAやGNSS研究会とも協議を重ねながら今後も進めていきたい。  
③特別栽培米として扱うとい

ような印象で受け取ったが、これが私たちの町のCO2削減の方向に向かう安全な、持続可能な農業、そして実際においしい、あるいは収量も上がるという可能性に関してこれからしっかりと勉強していきたい。

④町内の農家がJークレジット

## 本町の小中学校におけるいじめの対策について

Q 学校との連携は密に行っているか。会議はどのくらいの頻度で行っているか。

A 毎月上旬に定例校長会を開催しており、児童生徒の状況、問題行動等を報告してもらっている。



佐々木 和夫 議員

### 佐々木議員

近年特に交流サイト、いわゆるSNSによるいじめが増えてきている。道内で2023年度に認知されたいじめは前年比42・5%増

トについて何軒ぐらい取り組んでいるのかという調査を現時点ではしていない。それから、民間の米を扱う業者が入ってJークレジットを進めているという話も寡聞にして聞かなかったので、今後勉強させていただきたい。

の4万9,149件と過去最多となっており、都道府県別で3番目に多い結果になっている。本町の小中学校でも6月と10月の年2回に「いやなことアンケート」を実施されたようだが、いじめについて教育委員会としてどのように考えているか伺う。  
①学校との連携は密に行っているか。会議はどのくらいの頻度で行っているか。

②小中学校にはスクールカウンセラーと別に相談員がいるが、どのような方なのか。

### 教育課長

①毎月上旬に定例校長会を開催しており、児童生徒の状況、問題行動等を報告してもらっている。緊急性のある事案の場合はすぐに連絡が取れる体制もできている。

②電話相談のことであり、北海道教育委員会がいじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て、しつけなど家庭教育に関する悩みなどを子どもや保護者が相談できる窓口として開設したものの。本町の児童生徒にも相談窓口カードを配布しており、今年度も数件の利用があった。



### 教育長

いじめは人権侵害であるという基本的な認識に立ち、早期発見、未然防止に努めるためにも学校や家庭、そして地域、関係機関と連携していくことが極めて重要と考

える。教育委員会としては、今後いじめをなくすための

様々な取組を推進し、子どもたちの笑顔あふれる学校となるよう努めていく。

## 選択的夫婦別姓の考え方は

**Q** 選択的夫婦別姓制度をめぐる議論が世間で活発化しているが、町はどのようにお考えか。

**A** 選択的夫婦別姓及び同性婚の制度に関しては社会情勢などを踏まえながら慎重に検討を進めなければならぬ重要な課題であると考えている。



田中 春夫 議員

### 田中議員

選択的夫婦別姓について伺う。選択的夫婦別姓制度をめぐる議論が活発に行われている。日本では結婚すると夫婦の9割超は妻が夫の姓を名のっており、改姓不便利や不利益が女性に生じている。国連の女性差別撤廃委員

会は、日本政府に制度導入を促す4度目の勧告を行っており、経団連も導入を提言、世論調査では7割超が導入に賛成しており、機運が高まっている。

選択的夫婦別姓の実現や同性婚の法制化をはじめ、日本社会をジェンダー平等社会につくり変えようとしている全ての人々が今力を合わせて取り組んでいる。このようにのことについてどのようにお考えか伺う。

### 副町長

国は第5次男女共同参画基本計画において国際的協調の下でジェンダー平等を重要な視点と捉えており、夫婦の氏に関する制度の在り方や性的指向など多様性への理解について検討や啓発を進めることとしている。また、パートナーシップ宣誓制度を導入する自治体が増えていることから多様な性的指向など、社会における理解が深まってきているものと認識をしております。このようにジェンダー平等や多様な家族の在り方を認める価値観が広がる中、選択的夫婦別姓及び同性婚の制度に関しては社会情勢などを踏まえながら慎重に検討を進めなければならない重要な課題であると考えている。



## 議 会 の う ら ぎ

11月

3日 功労者表彰式  
総合文化祭交流会

6日 行財政等調査特別委員会

北空知副議長会議

22日 北空知議会議長連絡協議会総会

12月

11日 議会運営委員会  
17日 議会運営委員会  
町議会第4回定例会  
広報特別委員会

1月

7日 消防出初式

10日 商工会新年交礼会

12日 二十歳を祝う会

27日 ミックスカーリング妹背牛大会  
広報特別委員会

30日 空知町村議会議長会定期総会  
31日